

令和元年度主催事業「ひこさんミドルキャンプ」

○開催日：令和元年10月12日(土)～10月13日(日)

○開催場所：英彦山青年の家および英彦山周辺

○参加者：30名

○事業のねらい

自然豊かな英彦山のフィールドを舞台に、集団生活や体験活動を通して、思いやりの心や学ぶ意欲、規範意識を育むとともに、コミュニケーション能力の基礎を培う。また、自分のことは自分で行い、何事も楽しみながら、協力して取り組もうとする態度を育成する。

1日目

活動1：レクリエーション

初めて出会う仲間と仲良くなるために、班で自己紹介をしたり全体でレクリエーションをしたりしました。



活動2：テント設営

学習ボランティア「やまびこ」さんにテント設営の方法を教えてもらい、テント班の仲間と協力して自分たちでテント設営を行いました。お互いに声を掛け合う姿がたくさん見られ、どの班もスピーディーにテントを立てることができました。



活動3：写真立て作り

英彦山の木を使って、写真立て作りにチャレンジしました。のこぎりを使って木を3種類の長さに分けて切ることを頑張り、世界に一つだけの写真立てを作ることができました。



活動4：室内調理

風が強くて予定していた野外での調理はできませんでしたが、ご飯と麻婆豆腐とギョウザを作りました。麻婆豆腐作りでは全員が「包丁で豆腐を切ること」にチャレンジしました。ギョウザ作りでは、納豆・キムチ・コーン・チーズ・シーチキン・ソーセージ・ミートボール・バナナ・チョコソースなどの中から中身の具を自由に選び、楽しみながら調理にチャレンジしました。学校ではまだ家庭科の学習が始まっていない3・4年生にとって、とてもよい経験になりました。



活動5：パネルシアター

学習ボランティア「やまびこ」さんによるパネルシアターを観賞しました。歌に合わせた楽しいパネルやブラックライトを使った綺麗なパネルを見て、子どもたちは喜んでいました。



活動6：ジェンガ

パネルシアターの後は、お風呂の時間までジェンガをして遊びました。倒れないように慎重に木を抜き取ることができると「ふー」とため息が漏れたり、失敗して倒れた瞬間に「わぁー」と大きな声があがったりして、とっても盛り上がりました。



2日目

活動7：英彦山散策

九州自然歩道を通って、英彦山奉幣殿まで散策を行いました。途中途中、講師の先生に植物の話をしていただき、その植物に触れながら歩きました。真剣に話を聞き、カエデやモミジなどの植物をじっくりと観察する姿が見られました。班の友達とお互いに励まし合いながら、全員が最後まで歩き抜くことができました。



活動8：巨大シャボン玉遊び

散策から戻って来て、大きなシャボン玉を作って遊びました。長時間歩いた後でしたが、子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができました。



【参加者の感想】

- みんなで活動してとても楽しい思い出がたくさんできて良かった。みんなで笑い合って協力できたことがとてもうれしかった。
- 家でできないことを、英彦山青年の家でできて楽しかった。
- 何でもみんなと協力して頑張ることができた。
- おいしいギョウザを作れてうれしい。チョコバナナを入れたらめっちゃくちゃうまかった。
- もみじやかえでの種類をたくさん知ることができて嬉しかった。
- 英彦山の山はたくさんのお大自然であふれていることが分かった。
- 植物の名前など、英彦山の歴史が去年よりたくさん分かった。
- 2日間最高の思い出になった。

【全体を通して】

今回のキャンプでは、「自分のことは自分でしよう！」「自分から進んで行動しよう！」「仲間と協力して助け合おう！」の3つを目標に、活動しました。

「鍛ほめ福岡メソッド」の考えを活用して、活動ごとに子どもたちに課題を与えました。難しい課題も、自分の力で頑張ったり仲間と協力したりして、全ての課題を達成していきました。

子どもたちの頑張る姿と素敵な笑顔がたくさん見ることができた2日間でした！